

がん患者コミュニティサロン通信

秋田赤十字病院 がん患者コミュニティサロン

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢 222-1

☎ 018-829-5000 (内線 2182)



梅雨の晴れ間、緑の梢にそよぐ風の爽やかさを感じながら、雨の滴に濡れたあじさいが安らぎを与えてくれる季節を迎えました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。



さて、今月のサロンの会は、初参加の方やお久しぶりのの方々の参加で活気ある充実した会となりました。レクチャーでは

病理診断科・榎本先生より、病理診断からみる「卵巣がん」についてご講演を頂きました。

みなさん、真剣な眼差しで聴講されておりました。先生は診療のお忙しい中、毎月サロンの会にいらしてくれて私たちに希望を与えてくださっています。こうした秋田赤十字病院の後方支援に支えられ、充実した会が存続できていることを幸せに思います。おかげさまで今年、「がん患者コミュニティサロンの会」が発足10周年を迎えることができました。感謝の思いを、このたびの通信にて発信したいと思います。

～秋田赤十字病院・がん患者コミュニティサロン10周年に感謝～

サロンの会が発声をあげたのは2009年7月7日、七夕さまの日でした。当時、がん治療中であった3人の方々が、「患者同士の支え合いの場」があつたらと切実な思いで病院に相談して発足しました。毎月第二火曜日午前10時～12時の開催に伴い、「会の中断や参加者がゼロの日もなく、支え合いの絆を深めていこう」、「集う方々が自分の経験や悩み、苦痛を出し合い、共感と学びの場にしよう」との志を掲げスタートし、10年目を迎えることができました。これからも私たちががん患者・支えるご家族が集い、寄り添う「サロンの会」に多くの方たちの参加を願いながら、継承・発展させていきたいと思ひます。

私事ですが、「サロンの会」が発足した時、血液がんステージIVにて手厚い緩和ケアと高度治療が同時スタートした時期でした。死という現実と恐怖、身体的苦痛に耐えうる限界と向き合いながらも「生きたい・生きる」の希望を抱き続けました。病棟内を歩けるようになった時、掲示板に貼られていた「コミュニティサロン」のポスターを目にしました。退院したら必ず参加しよう！この目標が生きる力を与えてくれ、こうして見事に命がつながり、毎月参加させて頂いております。赤十字病院を自ら選択し、方針と治療が的中、素晴らしいチーム医療とケアによって今があります。同時に生きる希望を

与えてくれた「サロンの会」の存在、そして、「サロンの会」を後方支援の立場で関わってくださる病院・がん相談支援センター・医療スタッフの皆さまに心から感謝しております。

ありがとうございました。

サロンの会・一同

～ あなたへ ～

「がん患者コミュニティサロン」が、ここ秋田赤十字病院で
発足して10年になりました。平成21年に入院・通院していた患者
数人が「がん相談支援センター」に集まって話し合ったのが始まりでした。
「一人」ではとても不安だったのです。誰かと今の気持ちを話し合いたい
という思いが仲間をつくり、サロンの結成に至ったのです。仲間が顔を合わせると、
ほっと気持ちが和みます。がん相談支援センターのご指導をいただきながら、
がん患者の支え合いの場を毎月第2火曜日、2階多目的ホールに集まって
ワイワイやっていますが、お互いに顔を合わせることが支え合いになり、
励ますことになっています。この間、新しい仲間も加わりましたが、つらい
別れもありました。また、一方では元気に職場復帰していった仲間もいて、
賑やかなサロンになっています。

また、がんに負けないように病院スタッフの皆様のお世話になりながら、いろいろ
勉強してきました。「がん患者の食事」を管理栄養士さんに、「服用するお薬」の
ことを薬剤師さんに、「医療費」のことなどをソーシャルワーカーさんに、
それぞれ専門の方々の指導を頂いています。また、緩和ケアチームの先生や、
がん相談支援センターの先生からもご助言を頂いています。

このように話したい事、聞きたい事など、なんでも言い合いながら、
堅苦しくならず、楽しく会を続けていきたいと考えています。

ぜひ、一度勇気を出してサロンをのぞいてみてください。

あなたを、みんな大歓迎でお待ちしています。

秋田赤十字病院・がん患者コミュニティサロン

* サロンの会を発足してくれた大先輩の思いの言葉を引用させて頂きました。

(がん患者コミュニティサロン通信・2012年12月号より)

サロンの会はこの間のレクチャーで、赤十字病院スタッフの皆様から多くの事を学びました。

- 「ゼロの日は無い がん患者コミュニティサロン」 「抗がん剤について」
- 「赤十字病院・がん相談支援センターの役割」 「オプチーボについて」
- 「家族が認知症になったら」 「平成28年4月からの医療費の変更点について」
- 「医師が見た神秘の水中写真・特別講演」 「DVD視聴・ヤングサバイバーの活動を知ろう」
- 「早期からの緩和ケア・自分らしく家族らしくあるためにできること」
- 「ロコモ予防について」 「平成30年度診療報酬改定について」 「お薬について」
- 「がん治療の中のチーム医療と緩和ケアの導入について」
- 「緩和ケアと精神科医」 「災害時 あなたの身体を守る知恵」
- 「抗がん剤とホルモン療法」 「冷やす食品・温める食品」
- 「医療費の負担軽減について 安心して療養するために」
- 「病理学からみるがんについて」 「卵巣がんについて」

☆ 毎月、管理栄養士さんが季節に合わせた食事・食欲不振など症状に
伴う食事のあり方など、細やかなアドバイスをいただきました。

秋田赤十字病院スタッフの皆様にご感謝・ありがとうございました。* 紙面上一部紹介となりました。